

第3回IR推進会議 議事資料

大阪IRの基本コンセプト (案/議事資料)

1. 大阪がめざす方向性・IRの必要性

1) 大阪がめざす方向性

【大阪を取り巻く状況】

- 経済低迷 ・ アジア各国の経済成長
- 人口減少、高齢化社会（需要力不足・労働力不足）
- 訪日外国人の増加
- 国際会議需要の増加

【大阪のポテンシャル】

- ライフサイエンス・グリーンなどの幅広い産業集積
- 豊富な観光資源、世界遺産・文化財の集積、大学・研究機関の集積
- 国際空港と近接、交通インフラの充実

【大阪の課題】

- 低い一人当たりGDP
- 大規模MICEに対応可能な施設の不足
- 訪日外国人の増加を消費額の増加やビジネスにつなげる仕掛けづくり(例:夜間経済の活性化など)が必要
- 幅広いニーズに対応した宿泊施設不足

【大阪・夢洲のポテンシャル】

- 広大な用地の確保が可能
- 非日常空間を創出できるロケーション
- 関西国際空港、大阪市内、周辺都市のみならず西日本各地とのネットワーク形成が可能な立地
- 地震・津波などの災害に対する安全性確保

大阪(夢洲)のポテンシャルを最大限活かして、課題を解決する**新たな具体策が必要**

- 世界的潮流であり、成長戦略の柱として、国を挙げて取組みを強化している「観光」に着目
- 観光産業は、裾野が広く地域における様々な産業に波及

大きなニーズと将来性があり、経済波及効果の大きい**観光分野を基幹産業**として位置づけ、**国内外から人・モノ・投資を呼び込み、大阪・関西の持続的な経済成長に繋げていく**

1. 大阪がめざす方向性・IRの必要性

2)なぜ、IRなのか ～統合型リゾート(IR)の必要性～

- 観光の基幹産業化に向けては、国内外からの集客力強化が不可欠
- そのためには、世界の厳しい都市間競争に打ち勝つ新たな国際観光拠点の形成により、都市魅力の向上を図ることが必要
- 厳しい財政に鑑み、民間の知恵と工夫を最大限に活かすプロジェクトが効果的



統合型リゾート(IR)を核とする国際観光拠点の形成

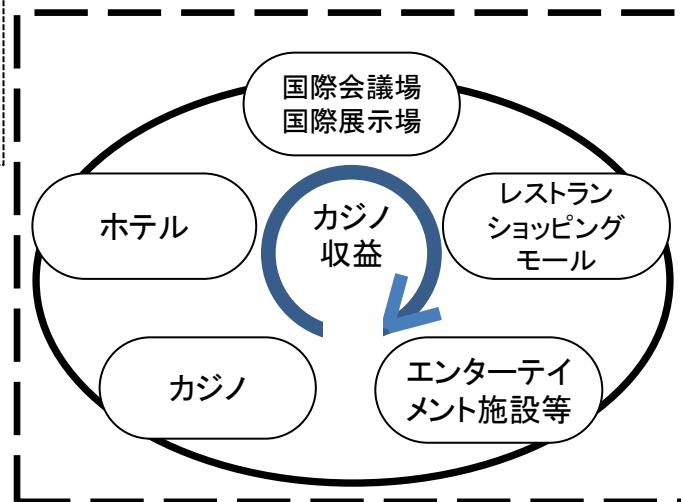
◆ IRとは

【「特定複合観光施設区域の整備に関する法律」における定義】

カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの

- 「カジノ施設」と「観光振興に寄与する諸施設」が一体となっている施設群
- カジノの収益により、大規模な投資を伴う施設の採算性を担保
- 民間事業者の投資による
 - ・集客及び収益を通じた観光地域振興
 - ・新たな財政への貢献

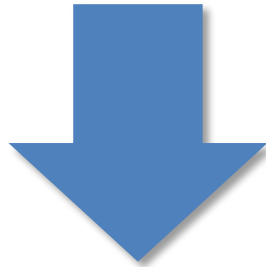
民間事業者による一体的整備・運営



2. 大阪IRの基本コンセプト

大阪がめざすIR

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなるIR



- 世界中の人・モノ・投資を呼び込み、経済成長の起爆剤となるため、世界中を魅了し、ビジネス客、ファミリー層を呼び込む「世界最高水準」のIR
- 50年・100年先を見据え、初期投資の効果だけではなく、施設、機能が更新され続ける「成長型」のIR

大阪IRの基本コンセプト

世界最高水準の成長型IR

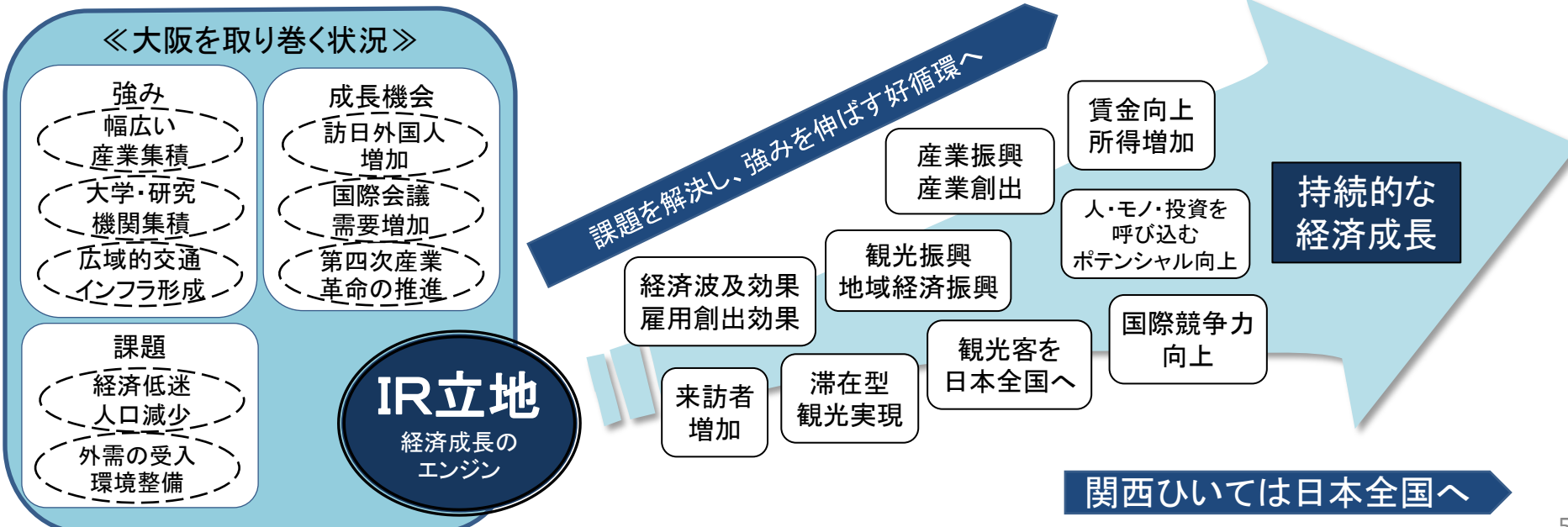
4つの柱

- ① 大阪・関西・日本観光の要となる独創性に富む国際的エンターテイメント拠点の形成
- ② 世界水準の競争力を備えたオールインワンMICE拠点の形成
- ③ 世界に類をみない魅力ある空間形成、最先端技術の活用によるスマートリゾートの実現
- ④ 世界の先進事例を進化させた総合的な懸念事項対策

2. 大阪IRの基本コンセプト

IR立地による大阪の将来像

- 民間投資による大きな経済波及効果・雇用創出効果の創出
- 一大観光拠点、MICE拠点の一体的運営により、国内外からのビジネス客、ファミリー層の来訪者増加、観光・地域経済振興、滞在型観光の実現
- 世界水準のMICE拠点形成による国際競争力の向上
- 最先端技術等のショーケース化による産業振興や新たな産業の創出に寄与
- 関西・西日本との広域的な相乗効果の発揮
- 多様な高次専門的職種の創出などにより、賃金向上・所得増加に寄与
- 上記各項目により、大阪・関西の人・モノ・投資を呼び込むポテンシャルを向上 など



項目（案）

1. 大阪がめざす方向性・IRの必要性
 大阪を取り巻く状況 ・ 大阪の課題
 大阪のポテンシャル ・ 夢洲のポテンシャル
 大阪がめざす方向性 ・ なぜIRなのか

2. 大阪IRの基本コンセプト

今回議論部分

3. 大阪IRの概要
 開発概要（開発のコンセプト、交通アクセスなど）、
 導入機能・施設（MICE、宿泊、国際的エンターテイメントなど）
 など

4. IR立地による効果
 集客効果、経済波及効果、雇用創出効果、
 納付金・入場料の活用、
 関西・日本全国への広域的な相乗効果 など

5. 懸念事項と最小化への取組
 ギャンブル依存症対策、青少年の健全育成、
 地域風俗環境等の保持 など

6. 地域の合意形成（府民理解の促進）に向けた取組

7. 全体スケジュール

次回以降議論部分